

(別紙2-1)

5年7月21日

二本松市議会議長様

会派名 加藤建也
代表者名 加藤建也



視察・研修報告書

当会派において、下記により視察（研修）を（に）実施（参加）しましたので報告いたします。

記

1 期 間 令和5年7月19日(水)～7月19日(水)

2 参加者 ① 加藤建也 ② _____
③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____

3 観察（開催）地及び観察（研修）内容

別紙のとおり



視察・研修報告書

会派力^ハ藤達也
氏名力^ハ藤達也

○月日 令和5年7月19日(～19日)

○場所 東和クリーンセンター

○内容 一般産業物の最終処分場観察。

○ 観察・研修の感想

東和クリーンセンターの利用限界と次の最終処分場について、又、現在の処分場は、あとどのくらいものか? 本宮クリーンセンター所長と施設管理係長から説明をいたしました。埋立はあと約6年位と次の最終処分場については令和3年から始まりに入ったといふで説明があり安心したのです。

(令和元年12月定例会での私の一般質問の答弁では、まだ3自治体首長との協議はさていらうと答弁があり一步づつ進んでいくと感じた。)

○ 観察・研修の成果、市政への反映等

※観察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

東和クリーンセンターを始めて視察させていたところですが、埋立処分地や水処理施設が想像以上に対策対応管理が工正在して驚きながら安全を確認させていた施設でした。その確認は、私が今まで知り得た生物処理、凝集沈殿処理、汚泥処理、高廃処理、そして消毒をして放流! こんなに念には念を入れて絶対に環境保全と公害防止に重点を置いて施設みんな"といふ事を一議員として市民の皆様に説明していくことを思いました。又、埋立の延命対策を取れば、2年延長の8年もとと説明がありどこかの自治体も、このような施設建設は難しい現実がある上で、ご本拠地、玉村は地元の皆様のご理解が得られるのであります。限界ギリギリまで東和クリーンセンターに対してあげれば良いのではないかと感じました。